

## 旧軍のあか筒について

あか筒は、筒状の容器にあか剤（くしゃみ剤：ジフェニルシアノアルシン）と加熱剤等が充填され、点火薬に着火するとあか剤が加熱され、これが微粒子となって煙状に拡散するという構造を有する有毒発煙筒である。

なお、あか筒に充填されたあか剤は常温では固体であり、熱を加えない限り微粒子となって拡散することはない。

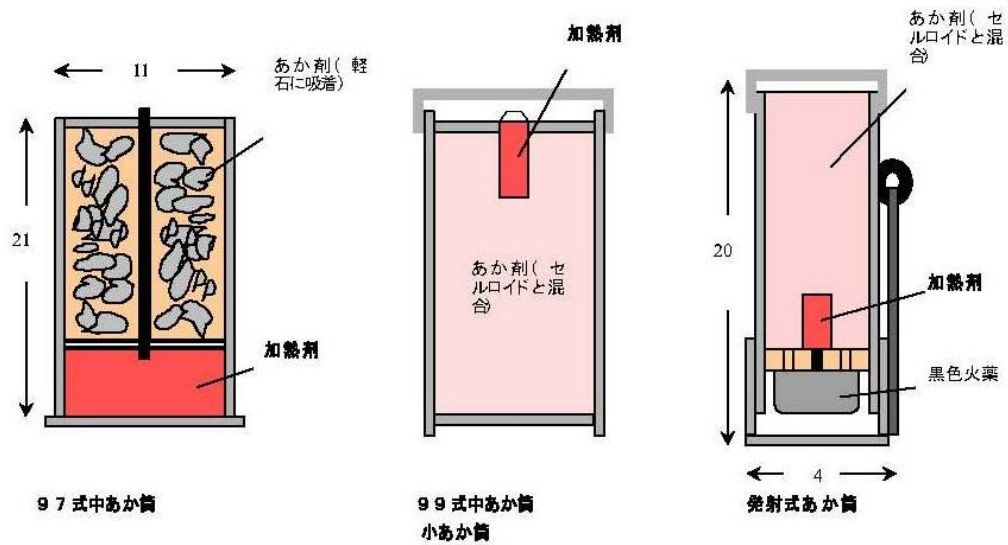


図1 各種あか筒の構造

(出典：日本学術会議「遺棄化学兵器の安全な廃棄技術に向けて」平成 13 年 7 月 23 日)

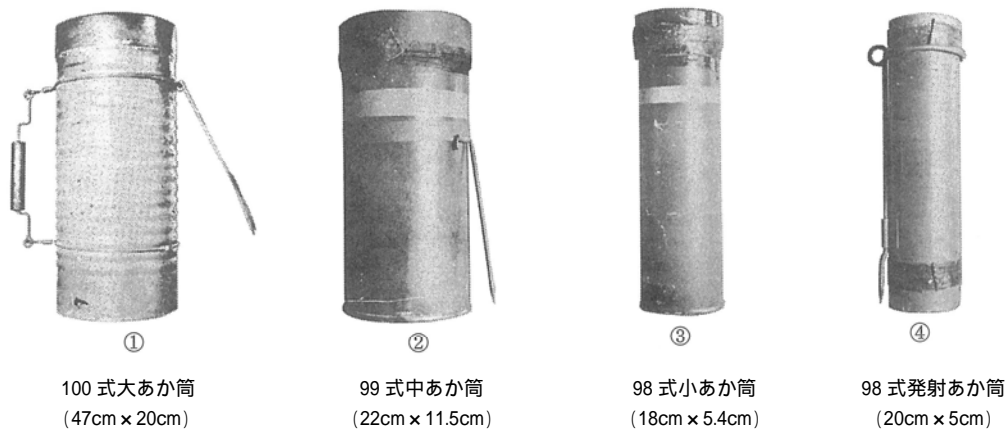


図2 各種あか筒の写真(米軍撮影)

(出典：吉見義明『毒ガス戦と日本軍』岩波書店、平成 16 年刊)